

**【第305号 紙面案内】**

第2面……第75回全国研究大会プログラム

第5面……常任理事会報告

第6面……第76回全国研究大会関連

第7面……各部会より

第11面……事務局よりお知らせ

## 学会機関誌の現状

機関誌委員会委員長 中村 公一（駒澤大学）

機関誌委員長に就任し、2年弱となり、4刊の編集に携わってきました。機関誌『経営教育研究』の紙面構成は、特集論文と投稿論文から成り立っています。特集論文は、直近に行われた全国研究大会の統一論題報告者やコメンテーターの方々に依頼しています。報告内容などの要旨は予稿集に掲載されますが、より詳細で、またその後の研究成果も入れて頂き、論文としてご執筆頂きます。これらの特集論文の蓄積は、全国研究大会を後から振り返る時にも参考になり、学会の資産にもなっています。

もう一方の投稿論文は、査読を行うために、各号で掲載本数は変動します。現在は、年間2号発行し、締め切りは8月末（第1号：翌年1月発行）、1月末（第2号：7月発行）です。例年、大学の夏季休みを挟む第1号への投稿本数は多くなっています。査読者は、研究分野が近い方々に依頼し、厳格な基準ですすめているために、掲載可となる本数に関しては、査読結果が出るまでは分かりません。毎号4、5本の掲載ができればと考えております。

機関誌の充実は、学会の水準を客観的に判断する際に重要となります。また、掲載論文のテーマは学会の特徴を示しているとも言えます。本学会のホームページには、「実・学一体の実践経営学」という創立者の山城章先生の理念に基づき、有能な経営者・管理者を育成するための経営教育を研究・実践する学会として、特に「実践経営学」と「経営教育」にアイデンティティを有していると掲載されています。皆様の研究テーマは多岐に渡りますが、本学会の理念を少しでも考えながら研究して頂ければ、学会の特徴も充実していくものと考えます。

# 日本マネジメント学会 第75回全国研究大会プログラム

統一論題 変革時代のマネジメント – IoT・AI のインパクト –  
会場：東洋大学白山キャンパス

## 第1日 2017年6月9日(金)

13:30～15:00 理事会 東洋大学白山キャンパス 2号館3階第1会議室  
16:30～18:00 企業見学 ヤマトホールディングス株式会社 羽田クロノゲート  
東京都大田区羽田旭町11-1 現地集合（1階総合受付16:20）

## 第2日 2017年6月10日(土) 9:00～17:00 受付【2号館16階】

9:30～9:40 開会挨拶 第75回全国研究大会実行委員会委員長 董 晶輝氏  
会長挨拶 日本マネジメント学会会長 柿崎 洋一氏

### 統一論題セッション1 2号館16階スカイホール（各報告40分）

9:40～10:20	統一論題報告1
報告者	児玉 充氏（日本大学）
テーマ	高度ICT時代の戦略経営 –戦略論及び組織論からのリサーチパースペクティブ–
司会	松村 洋平氏（立正大学）
10:25～11:05	統一論題報告2
報告者	大東 正虎氏（岡山商科大学）
テーマ	情報技術の発展とシミュレーション –経営分野におけるエージェント・ベース・モデリングの可能性–
司会	杉田 博氏（石巻専修大学）
11:20～12:00	統一論題報告3
報告者	栃原 稔氏（株式会社富士通総研）
テーマ	ITベンダー、コンサルタントから見たIoT・AIというデジタル化の影響
司会	吉村 孝司氏（明治大学）

12:00～13:00 昼食

### 統一論題シンポジウム1 2号館16階スカイホール

13:00～15:00	統一論題シンポジウム1
コーディネーター報告	IoTとマネジメント 松本 芳男氏（中央学院大学）
パネリスト	児玉 充氏（日本大学）、大東 正虎氏（岡山商科大学）
コーディネーター	松本 芳男氏（中央学院大学）、松村 洋平氏（立正大学）
司会者	樋口 弘夫氏（和光大学）

15:15～16:00 会員総会（2号館16階スカイホール）

## 特別講演 2号館16階スカイホール

16:15～17:15	特別講演
講演者	丸永 庸一氏 (アサヒ飲料株式会社 監査役)
テーマ	飲料事業の戦略
司会者	小椋 康宏氏 (東洋大学)

18:00～ 懇親会 ホテルベルクラシック東京 東京都文京豊島区南大塚 3-33-6 Tel:03-5950-1200

第3日 2017年6月11日(日) 9:00～12:00 受付【8号館7階】

12:00～15:00 受付【8号館2階】

## 統一論題セッション2 (東洋大学経営力創成研究センターセッション) 8号館7階125周年記念ホール (各報告40分)

9:20～10:00	統一論題報告4
報告者	小嶋 正稔氏 (東洋大学)
テーマ	IoT・AIとマネジメントシステム
司会者	仁平 晶文氏 (千葉経済大学)
10:05～10:45	統一論題報告5
報告者	水野 雄太氏 (株式会社 Nextremer 社長室長 グローバル担当)
テーマ	最先端技術とオープンイノベーション
司会者	大野 和巳氏 (文京学院大学)

11:00～12:00	統一論題シンポジウム2
パネリスト	小嶋 正稔氏 (東洋大学) 水野 雄太氏 (株式会社 Nextremer 社長室長 グローバル担当)
コーディネーター	井上 善海氏 (東洋大学)
司会者	瀬戸 正則氏 (広島経済大学)

12:00～13:00 昼食 (8301教室) 第76回大会委員会 (8302教室)

## 自由論題報告セッション1

(報告25分、コメントおよび質疑15分 計40分)

13:00～13:40	A会場 (一般) 8202教室	B会場 (一般) 8203教室	D会場 (院生) 8303教室
報告者	柴田 仁夫氏 (埼玉学園大学)	下境 芳典氏 (東洋大学)	佐藤 拓氏 (東洋大学)
テーマ	インターンシップが従業員 の能力に与える影響	対境理論を事例研究のフ レームワーク化することの 検証	自動車産業における競争戦 略の国際比較に関する研究
コメンテーター	郭 智雄氏 (九州産業大学)	海老澤 栄一氏 (神奈川大学)	中村 公一氏 (駒澤大学)
司会者	早川 淑人氏 (札幌学院大学)	大平 義隆氏 (北海学園大学)	篠原 淳氏 (熊本学園大学)
13:40～14:00	休憩		

14:00 ~ 14:40	A会場 (一般)	B会場 (一般)	D会場 (院生)
報告者	川野 祐二氏 (下関市立大学)	河合 博子氏 (高崎商科大学)	呉 賛氏 (京都大学)
テーマ	「創業者統治」と非営利組織のガバナンス	オープン・イノベーションによる事業転換：知的資本と企業価値の観点から	中国における日本的経営の受容—TQCの初期導入をめぐって—
コメンテーター	佐久間 信夫氏 (創価大学)	高垣 行男氏 (駿河台大学)	鈴木 岩行氏 (和光大学)
司会者	三森 敏正氏 (石巻専修大学)	梅田 勝利氏 (九州共立大学)	津田 秀和氏 (愛知学院大学)

## 国際セッション (13:00 ~ 14:40) C会場 8204教室

	13:00 ~ 13:25	13:25 ~ 13:50	13:50 ~ 14:15	14:15 ~ 14:40
報告者	Kyuhyong Kim (Chung-Ang University, School of Business Administration)	Soo Hyun Jun (Keimyung University, Dept. of Tourism Management)	Chung, Dae-Yong (Soongsil University) Kim, Choon-Kwang (Baekseok University) Yang, Jun-Hwan (Dankook University)	Baek You-Sung (Dept. of Mgt. Dong Yang University) Nam Jung-Soon (Ph. D. Candidate, Dong Yang University)
テーマ	Effectiveness of F-SCORE on the Loser Following On-Line Portfolio Strategy in Korean Stock Market	An Analysis of the Differences between Airbnb users and nonusers: Brand Credibility, Benefits, and Perceived Risk	The Effect of Role Model on Entrepreneurial Self-Efficacy and Entrepreneurial Motivation of Korean University Students.	An Empirical Study on the structural relationships among Resilience, BWF and Organizational Commitment: Focused on Yeoung-Ju Agricultural Cooperatives employees
司会者	文 載皓氏 (常葉大学)		細萱 伸子氏 (上智大学)	

## 自由論題報告セッション2

(報告25分、コメントおよび質疑15分 計40分)

14:50 ~ 15:30	A会場 (一般) 8202 教室	B会場 (一般) 8203 教室	C会場 (一般) 8204 教室	D会場 (院生) 8303 教室
報告者	木下 幸雄氏 (岩手大学)	中山 雅之氏 (国土館大学)	文 載皓氏 (常葉大学)	陳 塵氏 (東洋大学)
テーマ	農外参入企業のマネジメントは優れているか	国際協力 NGO と給与	多国籍企業の CSV 戦略	中国国有上場企業におけるコーポレートガバナンスの一考察
コメンテーター	當間 政義氏 (和光大学)	細萱 伸子氏 (上智大学)	田中 信弘氏 (杏林大学)	金 在淑氏 (日本経済大学)
司会者	櫻澤 仁氏 (文京学院大学)	青淵 正幸氏 (立教大学)	市古 勲氏 (東海学園大学)	杉田 あけみ氏 (千葉経済大学短期大学部)

15:30 閉会 閉会挨拶 日本マネジメント学会組織委員長 亀川 雅人

**常任理事会報告**

日 時 平成28年 3月25日(土) 11:00～

場 所 東洋大学白山キャンパス 2号館16階スカイホール

**議 題**

議題にはいる前に会長より、大きく次の二点が報告・提案され承認された。

- ①新しい理事として、第76回全国研究大会実行委員長の広島経済大学の瀬戸正則先生を加えること。
- ②藤木善夫先生が一身上の都合で退会されるため、中部部会長が同部会副部会長の蕎麦谷茂先生に交代される提案があり、承認された。

**1) 第75回全国研究大会（於 東洋大学）について**

東洋大学白山キャンパスにおいて2017年 6月9日(金)から11日(日)まで開催される第75回全国研究大会の統一論題は「変革時代のマネジメント —IoT・AIのインパクト—」とすることが報告・承認された。また、各セッションの準備状況について報告がなされた。

**2) 今年度（平成28年度）の活動経過報告及び来年度（平成29年度）の活動計画概要について（各委員会、各地方部会、各研究部会）**

各委員会、各地方部会、各研究部会の活動報告がなされた。

**3) 会員の入退会の承認について**

入会（個人9名）、退会（個人16名）が承認され、合計（個人635名、法人5社）となったことが報告された（平成29年3月25日現在）。

**4) その他**

第76回全国研究大会について、大会実行委員長の広島経済大学の瀬戸正則先生から、10月13日(金)から15日(日)までの3日間、広島経済大学において開催される大会の準備状況が報告された。

事務局より会員数の推移が報告された。

**第76回全国研大会・自由論題報告募集**

平成29年10月13日(金)～15日(日)に広島経済大学において開催される第76回全国研究大会の自由論題報告を募集します。下記要領に従ってご応募下さい。

**1. 応募資格**

本学会の会員。但し、第75回全国研究大会・自由論題として報告された方の応募はご遠慮下さい。

**2. テーマ**

本学会の目的に沿う以下のもの。経営体の諸活動に関する実践的経営の研究、日本的経営および国際的経営の研究、経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究

**3. 応募書類**

応募には応募用紙の記入が必要です。日本マネジメント学会ウェブサイトより応募フォーマットをダウンロードし、注意事項を読んで原稿を作成し下記締め切り期日必着にて電子メールまたは郵送でお送りください。

**4. 締切**

平成29年6月30日(金) 必着

**5. 応募先・問い合わせ先**

日本マネジメント学会事務局 (担当：武市)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36 S&Sビルディング3F

株式会社山城経営研究所内

TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233 E-Mail : name@kae-yamashiro.co.jp

## ◇◇関東部会からのお知らせ◇◇

佐藤 一義 (立正大学)

日本マネジメント学会関東部会を下記の通り、開催いたします。会員の皆様、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、プログラム(報告者、司会、コメンテータ)は決定し次第、日本マネジメント学会のホームページおよびメールマガジン等でお知らせいたします。

日 時：平成29年5月27日(土) 14:30～

会 場：立正大学(品川キャンパス) 11号館8階、第6会議室

会 費：1,000円

懇親会：18:15～

また、日本マネジメント学会関東部会は、今年度2回、開催する予定でございます。ご報告の応募の連絡先は、関東副部会長・松村洋平(matsumura@ris.ac.jp)もしくは関東部会幹事・當間政義(m-toma@wako.ac.jp)迄ご連絡くださいますよう、よろしく願いいたします。

※関東部会の詳細・お問い合わせ先

関東部会長 佐藤一義(sato@ris.ac.jp) TEL 03-3429-7255

## ◇◇中部部会・開催案内◇◇

水野 清文(奈良学園大学)

日本マネジメント学会中部部会では、第55回中部部会を、経営行動研究学会、経営哲学学会との3学会合同により開催予定です。皆様奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●日時：平成29年5月27日(土) 14:00～17:30

●場所：中京大学 名古屋キャンパス センタービル6階0604教室

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 Tel 052-835-7111

(地下鉄鶴舞線『八事』駅5番出口前)

※駐車場は利用できませんので公共交通機関をご利用下さい。

●プログラム

報告(報告35分、コメント10分、質疑15分)

第1報告：14:00～15:00 石原 俊之(扶桑町商工会)

「ビジネスモデルの実践について

－小規模事業者を中心としたビジネスモデル活用の可能性－（仮題）」

司会・コメンテーター：濱本 幸宏（愛知学泉大学）

第2報告：15:00～16:00 今井 範行（名城大学）

「“不可視領域競争戦略”の概念

－日本の自動車産業のイノベーション戦略に関する一考察－」

司会・コメンテーター：竹野 忠弘（名古屋工業大学）

<20分休憩>

第3報告：16:20～17:20 櫻井 克彦（名古屋大学名誉教授・長崎大学名誉教授・  
東海学園大学名誉教授）

「CSR 経営とその理論的課題（仮題）」

司会・コメンテーター：中條 秀治（中京大学）

議事：17:20～17:30

中部部会部会長 蕎麦谷 茂（名古屋外国語大学）

参加費等：参加費 500円、懇親会費 3,000円

お問い合わせ：中部部会部会長・蕎麦谷 茂

（名古屋外国語大学 〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57

TEL：0561-74-1111 E-mail：sobatani@nufs.ac.jp）

詳細は、中部部会事務局・水野 清文（奈良学園大学 〒636-8503 奈良県生駒郡三郷町立野  
北3丁目12-1 TEL：0745-73-7800 E-mail：k-mizuno@nara-su.ac.jp）までお問い合わせ  
ください。

## ◇◇中部部会からのお知らせ◇◇

水野 清文（奈良学園大学）

中部部会では随時報告者を募集しております。

ご希望の方は中部部会部会長・蕎麦谷 茂（名古屋外国語大学 〒470-0197 愛知県日進市  
岩崎町竹ノ山57 TEL：0561-74-1111 E-mail：sobatani@nufs.ac.jp）

または、中部部会事務局・水野 清文（奈良学園大学 〒636-8503 奈良県生駒郡三郷町立  
野北3丁目12-1 TEL：0745-73-7800 E-mail：k-mizuno@nara-su.ac.jp）までお問い合わせ  
ください。



## ◇◇平成28年度第2回産学交流シンポジウムの報告◇◇

中村 久人 (元 東洋大学)

日本マネジメント学会平成28年度第2回産学交流シンポジウムが、平成29年3月25日(土) 13:30～19:00、東洋大学白山キャンパス2号館16階スカイホールで開催された。

統一テーマは「実践経営と経営者教育について」であった。周知のごとく、本学会の創立者である故山城章一橋大学名誉教授はマネジメント原理の研究と実際の経営を通じて有能な経営人材を育成することを提唱され、それは本学会の使命ともなっており、今回はそのことを中心に、下記の講師の方々による演題が展開され、産学で語り合う場が設けられた。



小椋 康宏 氏  
(東洋大学 名誉教授)

「経営者教育と経営力創成」



今井 正彦 氏  
(山城経営研究所 顧問)

「産学協働における  
実践経営の活かし方」



木内 勝 氏  
(君津共同火力株式会社  
常勤監査役)

「経営者の役割、能力、課題、  
私が考えていること」

小椋康宏氏の演題では、まず、山城章の経営実践学はKAEにおけるA(経営能力)を開発する研究(教育)の学問であり、経営教育は経営の実践能力開発であることを示した後、経営体の行動原理を考える場合、経営体に参加する構成メンバーが経営・管理・作業の各階層で専門家であることが必要で、特に経営者・管理者はマネジメントプロフェッショナルでなければならないことを強調した。また、経営者育成には経営体における経営理念の確立、リーダーシップ能力の開発、対境関係の構築、経営文化の創成、経営センスなどの概念を構築する必要があり、経営者は企業価値を高め、経営力を創成することの重要性を提唱した。

今井正彦氏は、まず「本学会の使命」や「本学会創立趣意書」の抜粋から、本学会が有能な経営者・管理者の育成・教育を内容としており、学会、実務界が一体となって、それらの研究を推進することの重要性を強調した。さらに、KAE原理は経営者が経営改善に取り組むために必要な経営能力を高めるための基本メカニズムを示しており、Eである実際の経営を観ることで改善すべき課題を明らかにし、効果的な経営理論や手法であるKを実際の経営で

あるEに合わせて適用し経験を通じて経営改善能力を高める概念モデルを明らかにした。また、理想的な経営を行うための要素として10の経営原理も明らかにした。

また、山城教授の ABCD 原理によって日本の経営の良さは残しながらのその弱点や欠点を世界標準のマネジメントに近づけていくことが急務であり、そうした改善のために産学連携が必要であると述べた。

木内勝氏は、経営管理の実務家としての実体験をもとに、まず、当時の新日鉄の製鉄事業の経営課題と企業体質の再構築および君津共同火力の経営効率改善を振り返り、全員が経営の問題に正面から取り組み、戦略、目標、根拠などを明確にして共有し、トップが先に変わり、トップが変革を主導するなどが重要であると述べた。また、最近の経営環境の特徴について触れた後、経営リスクへの対処として自社の事業や業務等の実態・実力を正しく把握すること、社内のおかしなことを、普通でないことを放置しないこと、体制や社外を含めた専門性を担保すること等が必要であることを強調した。最後に、経営者が能力を発揮するための課題として、経営者も普通の人であり、スーパーマンではないので、教育・訓練は必要であり、標準書やマニュアルが必要であると述べた。



## ◇◇経営実践部会開催報告◇◇

鈴木 岩行 (和光大学)

2017年3月11日(土)東洋大学白山キャンパスにおいて、日本マネジメント学会経営実践部会が多数の参加者のもと開催された。初めに柿崎会長から開会の挨拶があり、あわせて6年前の東日本大震災の犠牲者を偲んで黙禱をささげた。まず、マネジメント研究部会が開催され、小島正稔氏(東洋大学)が「コ・ブランドの定義と展開」と題して報告された。次に、コンサルティング部会の発会式が行われ、「KAEとコンサルティング」の共通論題で、以下の7人が10分ずつ報告された。櫻井敬三氏(日本経済大学大学院)「期待外れの経営コンサルティングにならないための心得」、柴田仁夫氏(埼玉学園大学)「支援機関の現場から見たKAE」、北村和代氏(中小企業診断士)「コンサルにはK(知識)が役に立つ」、酒井勇貴氏(クリエイティブパーソンズ代表)「経営者と共に最適解を導き出すためのKAE」、岩永武大氏(SKIcom株式会社)「駆け出しコンサルタントとしてのKAE」、佐井行雄氏(価値の経営工房)「経営者の性根に響く、コンサルティング」、松岡次弘氏(中小企業診断士)「意図して～知識と経験を能力へ導く～」。

他に海老澤栄一氏からの書面コメントがあった。新進気鋭のコンサルタントの方が多かったこともあり、活発な議論が展開された。

**平成29年度会費及び過年度未払会費のご請求のお願いについて**

新年度のスタートに伴って、平成29年度会費をご請求致しますので、宜しくお申し上げます。

1) 会費のご請求に当っては、請求書をご送付しますので、学会会則に明記されている**支払期限(6月30日)**までに下記の方法(①又は②のいずれか)にてご送金下さい。

①郵便振込の場合(請求書に同封の払込取扱票を利用すれば、振込手数料は学会負担となります。)

**口座番号：00150-7-535064**

②銀行振込の場合

**みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金口座 1388418**

2) 平成29年度以前の過年度会費を未払いの方については、過年度未払会費を合わせてご請求致します。

3) 4月の会費自動引落しの対象者で既に引落しがされた方及び翌年度(平成29年度)会費を既に前払いされた方等のご請求から除いておりますのでご留意下さい。

なお、以前に会費自動引落しを申込みされた方に関して、何年にも亘って残高がないか残高不足のため及びゆうちょ銀行の口座を解約されたために、引落しが出来ない方が多

数おられますが、これらの方については自動引落とし対象者リストから削除させて頂きま  
すので、ご了承をお願い申し上げます。

## 住所変更・勤務先変更等のご連絡のお願いについて

新年度のスタートは、勤務先変更や転居等が行われる時期ですが、勤務先・連絡先変更や  
住所変更等の異動情報がある場合は、速やかにメール等により事務局までご連絡をお願い致  
します。なお、新年度のスタート以外にも勤務先・連絡先変更を何度もお願いしております  
が、ご連絡を頂けないケースが多々見られます。

異動情報のご連絡を頂けないと、会員名簿の更新、会報・機関紙のご送付、会員データの  
更新・維持管理に大変支障が出ますので、会員の皆様方のご協力をお願いします。

## 会員の新刊著書を紹介します

- |                             |        |          |
|-----------------------------|--------|----------|
| (1) 柴田仁夫著『実践の場における経営理念の浸透』  | 株創成社   | 3,400円＋税 |
| (2) 高垣行男著『地域企業における知識創造』     | 株創成社   | 2,600円＋税 |
| (3) 古田克利著『IT技術者の能力限界の研究』    | 株日本評論社 | 8,000円＋税 |
| (4) 羽田明浩著『ナースのためのヘルスケア MBA』 | 株創成社   | 2,600円＋税 |

※会員の皆様の新刊著書を紹介しますので、事務局へ献本（1冊）をお願い致します。

### 編集後記

コンピュータ「Deep Blue」が人間のチェス世界チャンピオンに試合形式で打ち勝ったの  
が1997年5月のことでした。今月はその20周年です。次の20年の最初の月となる来月、全  
国研究大会が「変革時代のマネジメントーIoT・AIのインパクトー」を統一論題として東  
洋大学にて開催されます。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

(会報委員会)

発行 日本マネジメント学会  
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36  
S&Sビルディング3F  
株式会社山城経営研究所内（担当：武市）  
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233  
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp  
URL: <http://www.nippon-management.jp/>  
印刷 株ドットケイズ TEL 03-5206-1626  
E-mail: win@good-ks.co.jp